

東京都診療放射線技師会 第8地区

第8地区は、城南支部に所属し、品川区・大田区(島嶼部を含む)をエリアとした約200名の会員で構成されています。

品川区・大田区は、東京湾に面した臨海部と山の手に連なる台地からなり、古くから交通、交易の拠点として栄え、江戸時代には東海道の沿道の宿場町として賑わい、明治時代に入ってから、京浜工業地帯発祥の地として発展してきました。そして現在、東京国際空港(羽田空港)の国際化や、品川駅への新幹線の停車、今後はリニア中央新幹線の乗り入れなど、再び交通、産業の拠点として重要な役割を担おうとしており、地域住民の人口も増加しているエリアです。



大田区・城南島海浜公園から撮影

地区委員は東芝病院、東邦大学医療センター大森病院、昭和大学病院、東京労災病院、NTT東日本関東病院などの施設から幅広く参加しています。地区の活動として主なものは8月の意見交換会と2月の地区研修会です。地区研修会では各施設の見学会なども多く企画しています。



品川区・品川神社 拝殿

また地区内で行われるイベントである大田区区民祭り「OTAふれあいフェスタ」には特に力を入れて参加しています。広報委員会の方々と協力し、品川区・大田区の方々の健康増進や放射線検査・技師会活動への啓蒙・啓発活動などを積極的に行っています。



2014年11月に行われたふれあいOTAフェスタ

品川区・大田区エリアで技師会活動に興味のある方・地区委員として活動に参加していただける方は地区委員長のメールアドレス(area08@tart.jp)までご連絡ください。地区研修会の予定を確認したい方は第8地区HP(<http://www.tart.jp/area08/>)をご覧ください。

皆様の参加を心よりお待ちしております。